

登録コード	TSS08504	開講年度	2026					
授業科目	機械物理演習Ⅱ					担当教員	飯尾 昭一郎	
英文授業名	Seminar in Mecahnical Physics, 2					副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	機械システム工学分野1年生
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ							
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を身につけることができる。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	機械物理の基礎に関する文献調査と英語学術論文輪講の実施、および得られた情報に基づくプレゼンテーション・グループ討論を通じて、幅広い見識と健全な倫理観を持って機械物理に関する研究を展開できるようになる	
(2)授業の概要	ゼミナール形式で機械物理の応用に関する演習を実施する。実施形態は集中講義形式にて実施し、前期集中20時間、後期集中20時間、の合計40時間の演習を実施する。							
(3)授業計画	第1回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：ガイダンス、応用演習・解説 第2回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体工学・流体機械）応用文献調査演習 第3回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体工学・流体機械）実用化演習 第4回（前期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：グループワークショップ 第5回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体工学）応用プレゼンテーション演習 第6回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体機械）応用プレゼンテーション演習 第7回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体工学）英語応用学術論文輪講・解説 第8回（後期集中5時間、1コマ2時間×1日2.5コマ）：機械物理（流体機械）英語応用学術論文輪講・解説 最終プレゼンテーション・討論							
(4)成績評価の方法	レポート50点、プレゼンテーション・討論50点、の合計点で評価する。90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可とする。							
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。							
(6)事前事後学習の内容	演習前に周知する。							
(7)履修上の注意	流体力学および流体機械を学習していることが望ましい。							
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける。							
(9)その他								
【教科書】	指定しない							
【参考書】	ハイドロタービン・新改訂版, ターボ機械協会編, 日本工業出版							